

2027年3月期 第1四半期 決算説明資料

2026年8月10日

近鉄グループホールディングス株式会社
(証券コード 9041)

<https://www.kintetsu-g-hd.co.jp>

四半期連結損益計算書

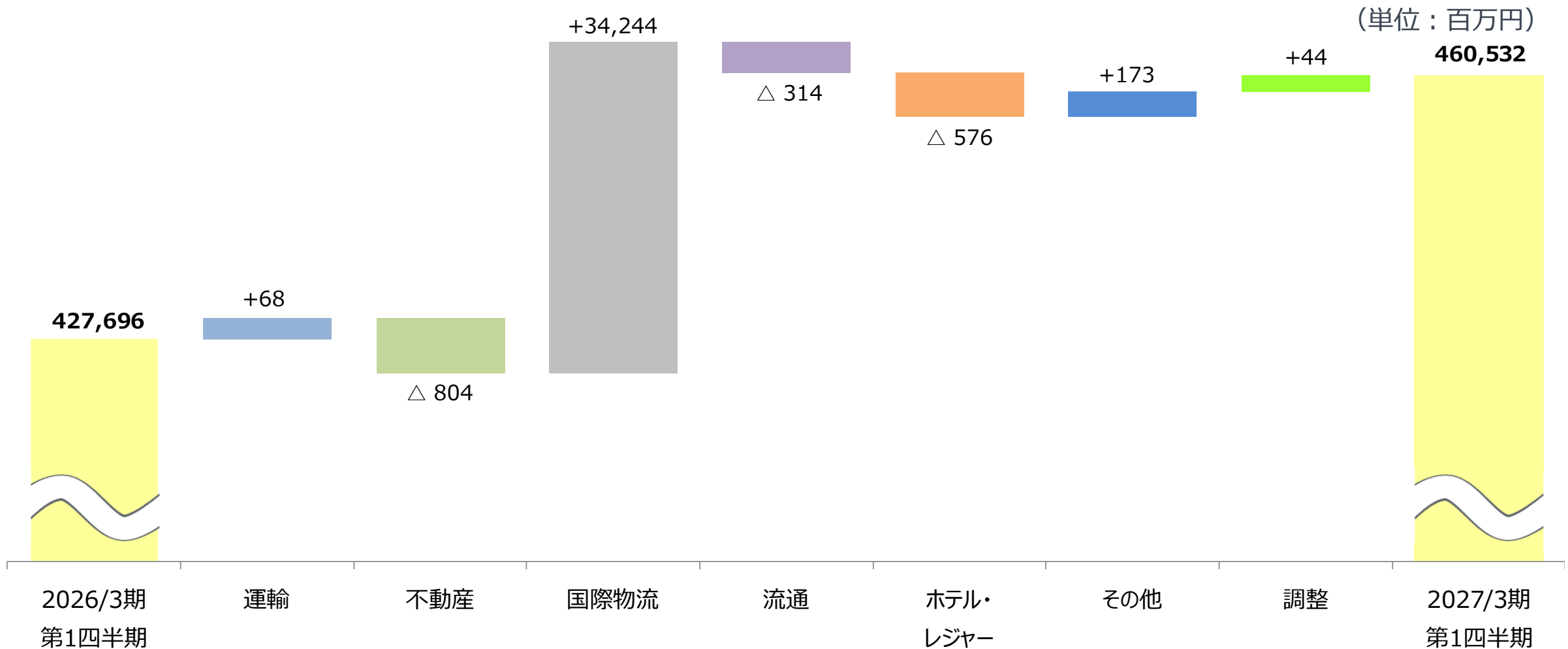
(単位：百万円,%)

	2026/3期 第1四半期	2027/3期 第1四半期	増 減	増 減 率	増 減 要 因
営業収益	427,696	460,532	32,835	7.7	「セグメント別業績」参照
営業利益	21,992	23,134	1,141	5.2	「セグメント別業績」参照
営業外収益	3,172	3,314	142	4.5	
うち持分法による投資利益	479	638	159	33.4	
営業外費用	4,439	5,359	919	20.7	
うち支払利息	3,287	4,205	917	27.9	
経常利益	20,725	21,090	364	1.8	
特別利益	4,868	2,219	△ 2,648	△ 54.4	工事負担金等受入額 △1,846 投資有価証券売却益 △2,191 固定資産売却益 1,491
特別損失	5,465	1,350	△ 4,114	△ 75.3	工事負担金等圧縮額 △1,873 店舗閉鎖損失 △1,990
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,776	11,758	981	9.1	

※2027/3期第1四半期では、固定資産・投資有価証券の売却等にて40億円超のキャッシュ創出
連結子会社数 199社（前期末比1社増） 持分法適用会社数 8社（前期末比増減なし）

決算ポイント（営業収益）

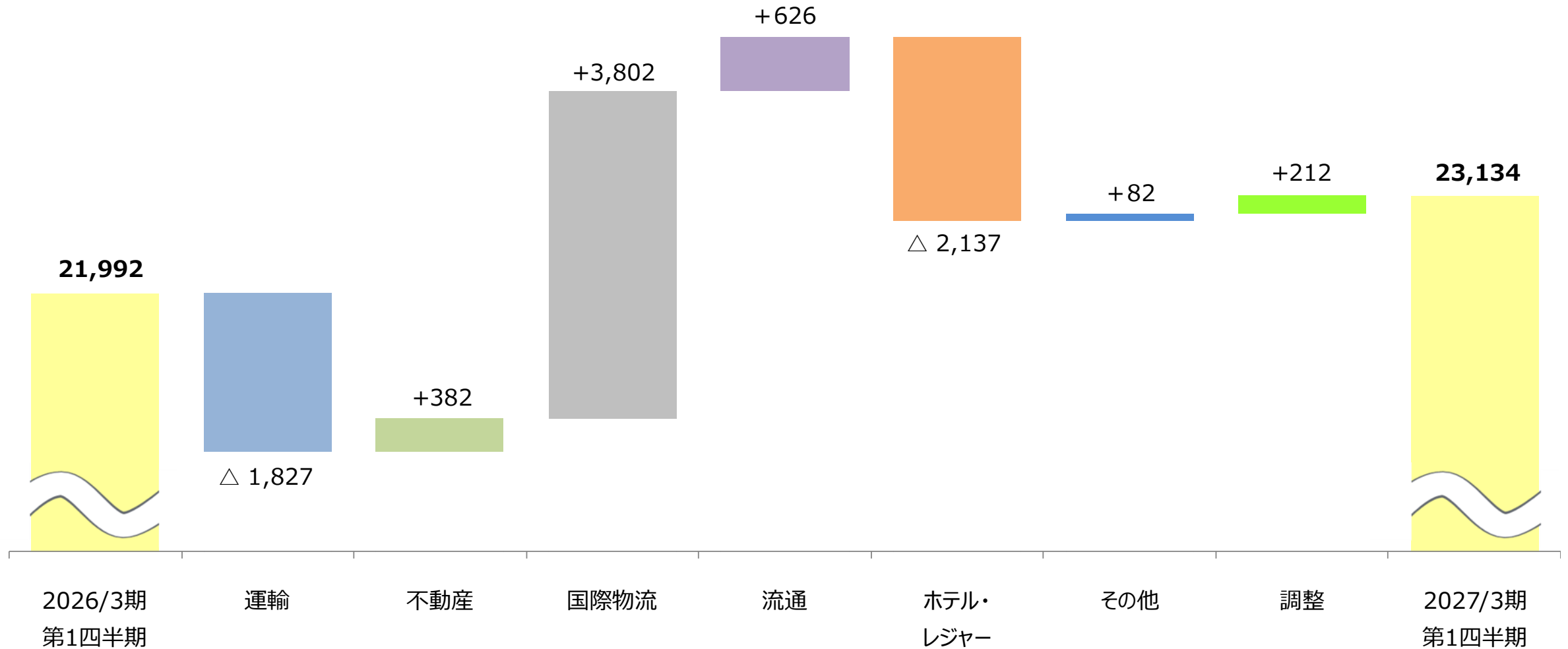
運輸業で伊勢志摩方面への鉄道利用が好調に推移したほか、流通業では百貨店の売場改装や催事の集客施策に注力し、前期に開催された大阪・関西万博の反動減による影響の抑制に努めたことに加え、国際物流業で取扱物量の増加や販売価格の引き上げにより増収となったため、連結全体で増収



決算ポイント（営業損益）

増収となった国際物流業に加え、流通業で増益となったため、運輸業やホテル・レジャー業での減益を差引き、連結全体で増益

（単位：百万円）



セグメント別業績

(単位：百万円,%)

		2026/3期 第1四半期	2027/3期 第1四半期	増 減	増 減 率
運 輸	営業収益	57,638	57,707	68	0.1
	営業損益	10,031	8,203	△ 1,827	△ 18.2
不 動 産	営業収益	41,999	41,194	△ 804	△ 1.9
	営業損益	4,530	4,912	382	8.4
国際物流	営業収益	182,642	216,886	34,244	18.7
	営業損益	648	4,451	3,802	585.9
流 通	営業収益	54,569	54,254	△ 314	△ 0.6
	営業損益	1,670	2,297	626	37.5
ホテル・レジャー	営業収益	91,320	90,743	△ 576	△ 0.6
	営業損益	4,420	2,282	△ 2,137	△ 48.4
そ の 他	営業収益	12,678	12,851	173	1.4
	営業損益	1,060	1,143	82	7.8
調 整	営業収益	△ 13,151	△ 13,107	44	
	営業損益	△ 368	△ 155	212	
連 結	営業収益	427,696	460,532	32,835	7.7
	営業損益	21,992	23,134	1,141	5.2

(単位：百万円,%)

	2026/3期 第1四半期	2027/3期 第1四半期	増 減	増 減 率
営業収益	57,638	57,707	68	0.1
鉄軌道	42,174	42,198	24	0.1
バス	9,662	9,648	△ 13	△ 0.1
タクシー	2,550	2,707	157	6.2
鉄道施設整備	2,687	2,707	19	0.7
その他運輸関連	3,071	2,761	△ 309	△ 10.1
調整	△ 2,507	△ 2,316	191	
営業損益	10,031	8,203	△ 1,827	△ 18.2
(主 な 内 訳)				
鉄軌道	8,475	7,280	△ 1,195	△ 14.1
バス	1,388	780	△ 608	△ 43.8

《鉄軌道》

- 前期に開催された大阪・関西万博の反動減に対し、鉄軌道業で伊勢志摩方面への観光利用が好調に推移したが、人件費や一般車両新造等による減価償却費の増加もあり、増収減益

近畿日本鉄道(株) 個別業績

	2026/3期 第1四半期	2027/3期 第1四半期	増 減	増 減 率(%)
〈収支〉				
営業収益 (百万円)	42,692	42,715	23	0.1
鉄軌道事業	42,174	42,198	24	0.1
旅客収入	40,539	40,458	△ 81	△ 0.2
定期外収入	27,609	27,460	△ 149	△ 0.5
定期収入	12,929	12,997	68	0.5
運輸雑収等	1,634	1,740	105	6.5
その他事業	518	516	△ 1	△ 0.2
営業損益 (百万円)	8,423	7,240	△ 1,183	△ 14.0
〈運輸成績〉				
輸送人員 (千人)	138,937	139,238	301	0.2
定期外	54,903	54,490	△ 413	△ 0.8
定期	84,034	84,748	714	0.8

(単位：百万円,%)

	2026/3期 第1四半期	2027/3期 第1四半期	増 減	増 減 率
営業収益	41,999	41,194	△ 804	△ 1.9
不動産販売	22,313	20,978	△ 1,335	△ 6.0
不動産賃貸	10,373	11,191	817	7.9
不動産管理	10,227	10,030	△ 197	△ 1.9
調整	△ 914	△ 1,005	△ 90	
営業損益	4,530	4,912	382	8.4
(主な内訳) 不動産販売	2,366	1,923	△ 443	△ 18.7
(主な内訳) 不動産賃貸	2,108	2,694	585	27.8

《不動産販売》

- ・ マンション分譲戸数が減少したため、減収減益

《不動産賃貸》

- ・ 新規取得物件が収益寄与したため、増収増益

※2027/3期第1四半期より、本部管轄地域の見直しにより、従来「欧州」と一体管理していた「中近東・アフリカ」と「東南アジア・オセアニア」に含まれていた「南アジア」を統合し、「南アジア・中近東・アフリカ」を新設。なお、2026/3期第1四半期のセグメント別業績については、変更後の報告セグメントの区分に基づき記載。

(単位：百万円,%)

	2026/3期 第1四半期	2027/3期 第1四半期	増 減	増 減 率
営業収益	182,642	216,886	34,244	18.7
日台韓	49,642	61,588	11,946	24.1
米州	23,805	28,372	4,567	19.2
欧州	11,452	14,982	3,529	30.8
東アジア	24,448	32,107	7,659	31.3
東南アジア・オセアニア	21,051	29,861	8,810	41.9
南アジア・中近東・アフリカ	3,744	4,377	633	16.9
APLL	53,423	51,187	△ 2,235	△ 4.2
その他	1,784	2,711	926	51.9
調整	△ 6,709	△ 8,302	△ 1,593	
営業損益	648	4,451	3,802	585.9
日台韓	636	2,612	1,976	310.6
米州	966	1,428	462	47.8
欧州	△ 554	218	773	—
東アジア	507	754	247	48.8
東南アジア・オセアニア	273	1,777	1,503	550.1
南アジア・中近東・アフリカ	22	166	143	633.4
APLL	556	△ 1,201	△ 1,757	—
その他	161	556	394	244.4

(主な内訳)

- 取扱物量が増加したほか、中東情勢の緊迫化等もあり運賃原価が高止まりするなか、販売価格への転嫁が進んだため、増収増益

		2026/3期 第1四半期	2027/3期 第1四半期	増 減	増 減 率(%)
〈収支〉					
営業収入 (百万円)		182,642	216,886	34,244	18.7
(主な内訳)	航空貨物輸送(フォワーディング)	62,644	92,415	29,770	47.5
	海上貨物輸送(フォワーディング)	56,092	57,596	1,503	2.7
	ロジスティクス	52,446	54,348	1,902	3.6
営業総利益 (百万円)		27,153	32,501	5,348	19.7
営業損益 (百万円)		648	4,451	3,802	585.9
〈物量〉					
航空輸出重量 (千トン)		130	148	17	13.8
海上輸出物量 (千TEU)		182	191	9	5.1

(単位：百万円,%)

		2026/3期 第1四半期	2027/3期 第1四半期	増 減	増 減 率
営業収益		54,569	54,254	△ 314	△ 0.6
	百貨店	29,777	29,407	△ 370	△ 1.2
	ストア・飲食	24,889	24,873	△ 15	△ 0.1
	調整	△ 97	△ 25	71	
営業損益		1,670	2,297	626	37.5
(主な内訳)	百貨店	1,075	1,878	803	74.7
	ストア・飲食	594	418	△ 176	△ 29.6

《百貨店》

- 大阪・関西万博の反動減があったものの、売場改装や催事による集客効果に加え、免税売上が堅調に推移したため、減収増益

(単位：百万円,%)

		2026/3期 第1四半期	2027/3期 第1四半期	増 減	増 減 率
営業収益		91,320	90,743	△ 576	△ 0.6
	ホテル	12,418	12,282	△ 135	△ 1.1
	旅行	73,456	72,668	△ 787	△ 1.1
	映画	878	862	△ 16	△ 1.8
	水族館	2,426	2,586	159	6.6
	観光施設	2,207	2,397	189	8.6
	調整	△ 67	△ 54	13	
	営業損益	4,420	2,282	△ 2,137	△ 48.4
(主な内訳)	ホテル	1,434	434	△ 999	△ 69.7
	旅行	1,989	929	△ 1,060	△ 53.3
	水族館	861	859	△ 2	△ 0.3
	観光施設	58	17	△ 41	△ 70.8

《ホテル》

- ・ 大阪・関西万博の反動減に、中国の渡航自粛による影響が重なり、減収減益

《旅行》

- ・ 大阪・関西万博の反動減や中東情勢の緊迫化等を背景に団体旅行や訪日旅行の取扱いが減少したため、減収減益

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2026/3期	2027/3期 第1四半期	増 減	増 減 要 因
流動資産	746,535	743,359	△ 3,176	現金及び預金 △30,570、受取手形、売掛金及び契約資産 13,417、販売土地及び建物 11,095
固定資産	1,845,376	1,862,597	17,221	使用権資産 9,240、建設仮勘定 5,330
うちのれん	49,440	48,680	△ 760	
資産合計	2,593,502	2,607,466	13,964	
流動負債	640,544	658,104	17,559	コマーシャル・ペーパー 10,000、短期借入金 7,425
固定負債	1,260,992	1,273,835	12,842	長期借入金 9,680、長期リース債務 5,243、社債 △854
負債合計	1,901,537	1,931,939	30,401	
純資産合計	691,964	675,527	△ 16,437	非支配株主持分 △26,081
うち利益剰余金	275,620	281,735	6,114	純利益 11,758、配当金 △5,713
うちその他の包括利益累計額	155,083	158,631	3,547	為替換算調整勘定 3,623
負債・純資産合計	2,593,502	2,607,466	13,964	
純有利子負債残高	1,075,862	1,131,847	55,984	
借入金	948,759	965,866	17,106	
社債（コマーシャル・ペーパー含む）	316,780	325,926	9,146	
リース債務（IFRS第16号による計上分を除く）	25,236	24,398	△ 837	
現金及び預金(△)	△ 214,913	△ 184,342	30,570	
自己資本比率	23.6%	23.8%	0.2pt	

※投下資本(バランスシート)改革を推進するなか、2027/3期第1四半期では、固定資産・投資有価証券の売却等にて40億円超のキャッシュ創出。引き続き検討・実行による改革推進に努める。

お問合せ先

総合政策本部 経営企画部

Tel : 06-6775-3478

Fax : 06-6775-3644

Mail : ir-info@rw.kintetsu.co.jp